

■ 「PC インストラクター」

【概要】

PC インストラクターは、主に PC 教師として、小中高等学校、教員養成校、職業訓練校等の教育機関をはじめ、官公庁や障がい者支援施設等に派遣され、現地の人と共に活動を行います。

授業の内容は、パソコンの基本操作からパワーポイントの作成、写真の加工などが主なものですが、現地の人向けにわかりやすいカリキュラムや教材を作成するなどの創意工夫が求められます。

また、要請の中には、PC 授業や同僚教師への指導だけではなく、学校内の手書きの書類のデータ化、コンピューター管理や、簡単な LAN 環境の整備を求められる場合もあります。

なお、訓練所入所前に2週間、「技術補完研修（コンピュータ研修）」を受講いただき、ネットワーク基礎・PC リペア・PC 教授法・PC 教室の維持管理についてなど、途上国で活動するため必要な知識を補完します。

以下は PC インストラクターの隊員として活動するうえで有益な能力・経験・知識・資格の例です。PC インストラクターという同じ職種でも、タイピング等の基本操作を教える要請から、プログラム言語やデータベースの基礎を教える要請まで、派遣される国や配属先の活動内容によって、求められる知識や技術は異なります。

これまで、日本で事務職として働いていた方が自身で基礎的な情報処理の知識を学び協力隊に応募され、各国で多数活躍しています。



小学校にてタイピングの授業を行う青年海外協力隊員（ベリース）



小学校にてパソコン基礎の授業を行う青年海外協力隊員（モロッコ）

1. 能力	<p>【必要能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報処理の基礎能力 ●Microsoft Office 活用能力 ●語学力 ●指導力 ●コミュニケーション力
2. 経験	<ul style="list-style-type: none"> ●PC インストラクター経験 ●ヘルプデスク経験 ●IT 系営業経験 ●事務職として Office を活用した職務経験 ●SE・プログラマ経験 ●Web サイト作成経験 ●グラフィックデザイナー経験 ●IT 系大学・大学院での学習経験
3. 知識	<ul style="list-style-type: none"> ●情報工学 ●情報理論 ●教育学 ●語学
4. 活動に役立つ資格	<p>IT パスポート IT Fundamentals（コンプティア） 基本情報処理技術者 Microsoft Office Specialist Microsoft Official Trainer 教員免許</p>